

## 主日礼拝

2021 年 09 月 26 日  
午前 10 時 30 分前奏 「キリストよ、私をあわれんでください」  
(G. オールドロイド)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「ヤコブよ、あなたを創造された主は  
イスラエルよ、あなたを造られた主は  
今、こう言われる。  
恐れるな、わたしはあなたを贖う。  
あなたはわたしのもの。  
わたしはあなたの名を呼ぶ。」 (イザヤ書 43 : 1)

## 交読詩編 90 : 13~17

司式者：主よ、帰って来てください。  
会衆：いつまで捨てておかれるのですか。  
一緒に：あなたの僕らを力づけてください。  
司式者：朝にはあなたの慈しみに満ち足らせ  
会衆：生涯、喜び歌い、喜び祝わせてください。  
司式者：あなたがわたしたちを苦しめられた日々と  
会衆：苦難に遭わされた年月を思って  
一緒に：わたしたちに喜びを返してください。  
司式者：あなたの僕らが御業を仰ぎ  
会衆：子らもあなたの威光を仰ぐことができますように。  
司式者：わたしたちの神、主の喜びが  
わたしたちの上にありますように。  
会衆：わたしたちの手の働きを  
わたしたちのために確かなものとし  
一緒に：わたしたちの手の働きを  
どうか確かなものにしてください。

## 祈祷

献金 献金箱が受付に置いてありますので、  
礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 聖書 マタイによる福音書 20 : 1~16

新約 (新共同訳) p38

「天の国は次のようにたとえられる。ある家の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出かけて行った。主人は、一日につき一デナリオンの約束で、労働者をぶどう園に送った。また、九時ごろ行ってみると、何もしないで広場に立っている人々がいたので、『あなたたちもぶどう園に行きなさい。ふさわしい賃金を払ってやろう』と言った。それで、その人たちは出かけて行った。主人は、十二時ごろと三時ごろにまた出て行き、同じようにした。五時ごろにも行ってみると、ほかの人々が立っていたので、『なぜ、何もしないで一日中ここに立っているのか』と尋ねると、彼らは、『だれも雇ってくれないのです』と言った。主人は彼らに、『あなたたちもぶどう園に行きなさい』と言った。夕方になって、ぶどう園の主人は監督に、『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい』と言った。そこで、五時ごろに雇われた人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。最初に雇われた人たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思っていた。しかし、彼らも一デナリオンずつであった。それで、受け取ると、主人に不平を言った。『最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんでした。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにすることは。』主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたではないか。自分の分を受け取って帰りなさい。わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。自分のものを自分のしたいようにしては、いけないか。それとも、わたしの気前のよさをねたむのか。』このように、後にいる者が先になり、先にいる者が後になる。」

賛美 386(1,3,4) 「人は畑をよく耕し」

① ひふと はは た け を よ く た の が や し し も  
 ② ふゆ と の は は た さ ら き を は あ こ く の た が や ぜ し も  
 ③ ひ と は は た ら き あ せ を な が し し ず かな た べ ね む り に つ く  
 ④ ひ と は は た ら き あ せ を な が し し ず かな た べ ね む り に つ く

よ あ し ゆ い き ず た た の か か ね ひ な な ま ざ ゆ み い し う の ー ー ー て も べ り み な ね あ の つ む た り の り え を つ に ら ま ゆ つ れ つ も く て

ひ は め ま を な ぐ こ か も み こ が き の ろ や の か を か み み こ せ も は め し め あ か ひ め め む り に を の も か ふ め よ ん ら ぐ る し せ み も し

た ひ み だ ご ま ま か と も え み の り に だ か あ い け て た の が は え る そ そ さ こ の さ の だ て ら れ る ら れ る る  
 (くりかえし)

よ い も の み な か み か ら く る

そ の ふ かい あ い を ほ め た た え よ う

- ① 人は畑をよくたがやし、  
 よいたねまいて、実りを待つ。  
 ひをかがやかせ、雨をふらせ、  
 ただ、神だけが育てられる。  
 よいものみな神から来る。  
 そのふかい愛を ほめたたえよう。
- ② 冬の寒さも 春の風も  
 秋のひざしも 夏のつゆも、  
 花も木の実も 神のめぐみ。  
 日ごとのかては そのたまもの。  
 よいものみな神から来る。  
 そのふかい愛を ほめたたえよう。
- ③ 人ははたらき あせをながし、  
 しずかな夕べ ねむりにつく。  
 めぐみの神は 昼も夜も、  
 み守りあたえ ささえられる。  
 よいものみな神から来る。  
 そのふかい愛を ほめたたえよう。
- ④ しんじて生きる この幸せ。  
 ゆたかな実り あたえられて、  
 まごころをこめ 主にかんしゃし、  
 み前にいのる このよろこび。  
 よいものみな神から来る。  
 そのふかい愛を ほめたたえよう。

説教 「支え合う働き=天の国・神の国」

賛美 563 「ここに私はいます」

Here am I  
 詞：Brian Wren, 1936-  
 曲：Daniel Charles Damon, 1955-  
 STANISLAUS

1 ここに わたしはいます、ホームレスの ねむるまち。  
 2 ここに わたしはいます、しごとがす れつのなか。▶  
 3 とともに しょくたくかこみ パンをわか つ むれのなか。

ここに わたしはいます、こごえる子の な -みだにも。  
 ▶ とともに わたしはいます、へんかくよぶ ひ -とびとと。▶  
 とともに わたしはいます、みことばに生 き -るひとと。

あなた は？  
 ▶ あなた は？  
 あなた は？

派遣

司式者 主は言われます。  
 「わたしは誰を遣わすべきか。」  
 会衆 わたしがここにおります。  
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「私のよろこび、私の力」

(L. ピッキ)

司式 塩治 みはる  
 説教 向井 希夫 牧師  
 奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、  
 座ったままで礼拝をお守り下さい。  
 ※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。